

図書館 だより

問 上野図書館
☎ 21-6868 FAX 21-8999



司書のおすすめ

■ いがし電子図書館

『ちくわファンクラブ』

藤井 恵 / 著（誠文堂新光社）



安価で魚のたんぱく質がとれ、ローカロリー。加工品なので調理も簡単。肉や魚の代用品としても使えるちくわ。ナムル、かば焼き、グラタン、茶碗蒸し、ミックスフライ、チャーハンなど、ちくわを使ったレシピを多数紹介する。（TRC MARC より）

4月～9月に貸出回数が多かった電子書籍ランキング

■ 一般書

	タイトル	著者	出版社
1	サラ弁	ほりえ さちこ 著	主婦と生活社
2	元気&前向きになれる！ 大人女子のための読むサプリ	はあちゅう 著	ゴマブックス
3	逃げる勇気 電子書籍版	和田 秀樹 著	自由国民社
4	変な家 文庫版 電子版	雨穴 著	飛鳥新社
5	100万回死んだねこ	福井県立図書館 編著	講談社

■ 児童書

	タイトル	著者	出版社
1	100万回生きたねこ (佐野洋子の絵本)	佐野 洋子 作・絵	講談社
2	パンどろぼう	柴田 ケイコ 作	KADOKAWA
3	ぎょうざがとりにひっこしてきました (講談社の創作絵本)	玉田 美知子 作	講談社
4	す～べりだい 電子書籍版 (PHP 電子)	鈴木 のりたけ 作・絵	PHP 研究所
5	どうぞのいす (うごくえほんチルビー)	香山 美子 作	モーニング

図書館からのお知らせ

ぬいぐるみといっしょにおはなし会&ぬいぐるみおとまり会

おはなし会の後、ぬいぐるみは大山田図書室でおとまり会をします。

※おはなし会のみ参加も可能です。

※ぬいぐるみのお迎えは、11月15日(土)・16日(日)の開館時間内にお願いします。

【と き】 11月8日(土) 午前10時30分～

【ところ】 大山田図書室

問 大山田図書室 ☎ 47-1175

親子ふれあい絵本ライブ参加者募集

フリーイラストレーター・あそび作家・絵本作家として活動する浦中こういちさんを迎え、読書の楽しさを知ることができるイベントです。

【と き】 12月13日(土)
午後1時30分～3時30分
(受付開始：午後1時～)

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【対象者】 小学校3年生以下（保護者同伴）

【定 員】 50人 ※申込多数の場合は抽選

【申込方法】 申込フォーム、各図書室カウンター

【申込期間】 11月10日(月)～29日(土)

【主 催】 本よもうねっと MIE 申込フォーム
(三重県教育委員会社会教育・文化財保護課)



11月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。
(30分～1時間程度)

と き	ところ	催物（読み手）
15日(土) 10:00～	いがまち図書室	絵本の時間 (お話の国アリス)
15日(土) 10:30～	阿山保健 福祉センター	読みきかせの会 (はあと&はあと)
18日(火) 10:30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ ミニおはなし会



いがし電子図書館



上野図書館 LINE 公式アカウント

友だち募集中

伊賀市役所 本庁舎 11月のアート情報

本庁舎で下記の展示を行っています

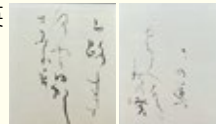
◆4階市民ミニギャラリー

○仲川 忠道「青空の月」
～退職後のひまつぶし
版画と短歌の作品展～



◆1階玄関横

○伊賀市寄贈作品展示
書「芭蕉 春秋」
襟立 玉英



書「秋風のふ希と毛青志栗濃意賀」
上窪 恵泉



○いけばな（伊賀華道協会）

※都合により展示物が変わる場合があります。

※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

市民ミニギャラリー展示作品募集中

問 文化振興課

☎ 41-0400
FAX 22-9694



市民意見（パブリック コメント）を募集します



◆伊賀市、名張市、笠置町及び南山城 村ごみ処理広域化基本構想(中間案)

市では、持続可能なごみの適正処理体制を確保するため、名張市、笠置町及び南山城村と共同で、ごみ処理広域化にかかる検討を進めています。

その基本構想（中間案）をまとめましたのでご意見を募集します。

【閲覧方法】

- 市ホームページ
- 本庁舎 1階ロビー
- 廃棄物対策課（さくらリサイクルセンター内）
- 各支所
- 各地区市民センター

【提出方法】

ウェブフォームまたはご意見記入用紙に氏名・住所・電話番号・「資料名」・「該ウェブフォーム当ページ・該当箇所」とそれに対する「意見内容」を記入し、下記まで。持参の場合は、各支所でも受け付けます。※提出いただいたご意見は、後日とりまとめの上、市ホームページで公表します。

※意見への個別回答は行いません。

【提出期限】 11月25日(火)

午後4時30分必着

申・問 廃棄物対策課

☎ 20-1050 FAX 20-2575
✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

課税課会計年度任用 職員募集



【勤務内容】

給与支払報告書などの確認・入力作業、申告会場の受付、一般事務補助

【雇用期間・勤務時間】

令和8年1月1日(休・祝)～3月31日(火)
午前9時～午後4時（休憩60分）
週5日勤務

※土・日曜日、祝日、1月2日を除く。

【勤務場所】 課税課

【報酬】 月額148,160円

※国家公務員給与などに準拠して給与改定を行うことがあります。

※距離に応じて交通費を支給します。

【試験日】 11月20日(木)

※開始時間、会場は申し込みされた人にお知らせします。

【選考方法】 面接

【募集人数】 5人

【応募方法】 会計年度任用職員採用選考申込書を持参または郵送

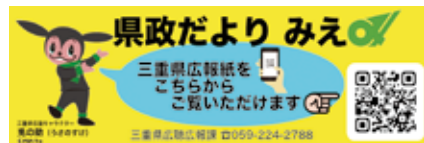
【応募期限】

11月14日(金) 午後5時15分

※郵送の場合は、当日必着

申・問 人事課

☎ 22-9605 FAX 22-9742



芭蕉翁記念館だより

今年の立冬は11月7日です。冬の訪れを告げるこの時期に降るにわか雨のことを時雨と言います。時雨は、和歌の世界で愛されてきた言葉であり、また芭蕉さんが愛した季語でもあります。

時雨は、その冷たさや、すぐに降りやむ様子から、世のはかなさを表すものとして和歌に詠まれ、俳諧の世界にも受け継がれてきました。このような伝統を踏まえながら、芭蕉さんは、はかなさも含めて愛し、旅に楽しみを加える雨として、

たび人と我名よばれむ初しぐれ

などの句に詠みました。

芭蕉さんが詠んだ多くの時雨の句により、のちの時代の人にとっては芭蕉さん自身を象徴する言葉となり、芭蕉さんの法要「しぐれ会」が催されるようになりました。



士朗筆「けふばかり」芭蕉発句自画賛（伊賀市蔵）

◆令和7年度 芭蕉祭特別展「芭蕉、時雨に生きる」開催中

12月23日(火)まで

◆ギャラリートーク

11月16日(日)・12月13日(土)

午後1時30分～（要入館料）

問 ○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219